



経営統合に関する最終契約の締結について
2023.5.23

RIKEN

株式会社リケン

代表取締役社長(CEO兼COO)

前川 泰則

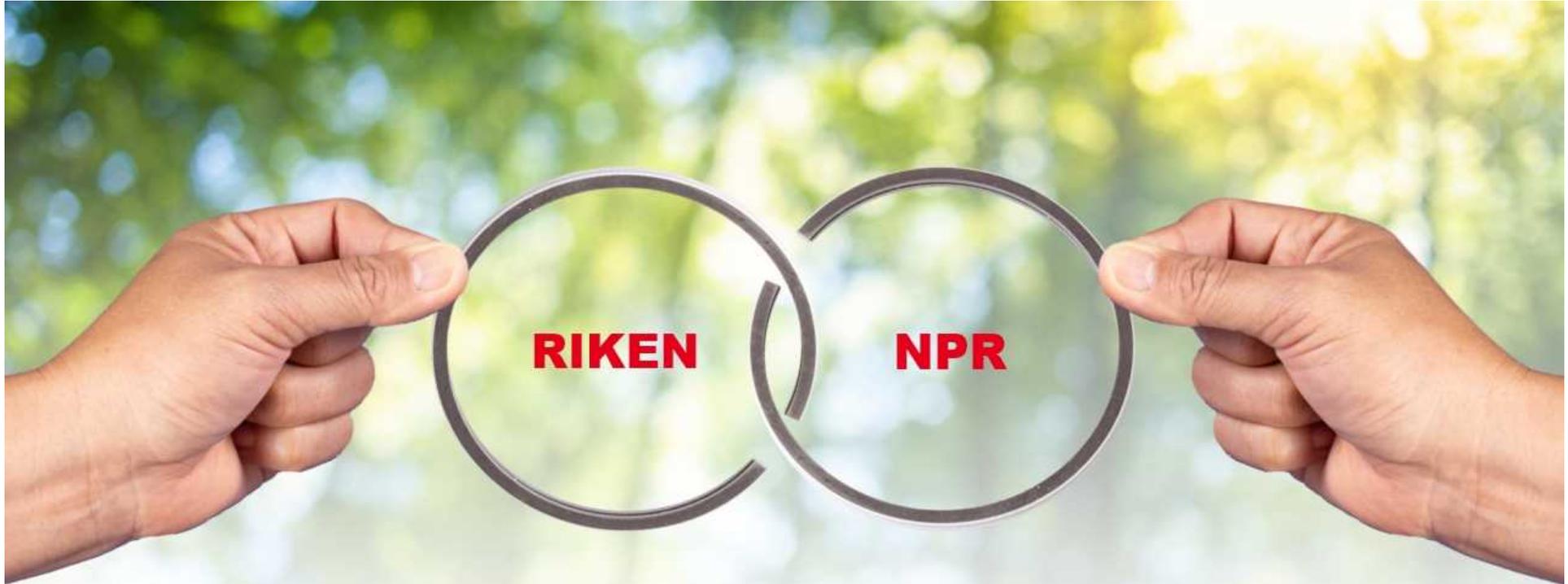
NPR

日本ピストンリング株式会社

代表取締役社長

高橋 輝夫





**持続可能な社会の実現に向けて
株式会社リケンと日本ピストンリング株式会社が
経営統合します。***

*本年6月23日の両者定時株主総会での承認を経て本年10月2日の効力発生を予定しております

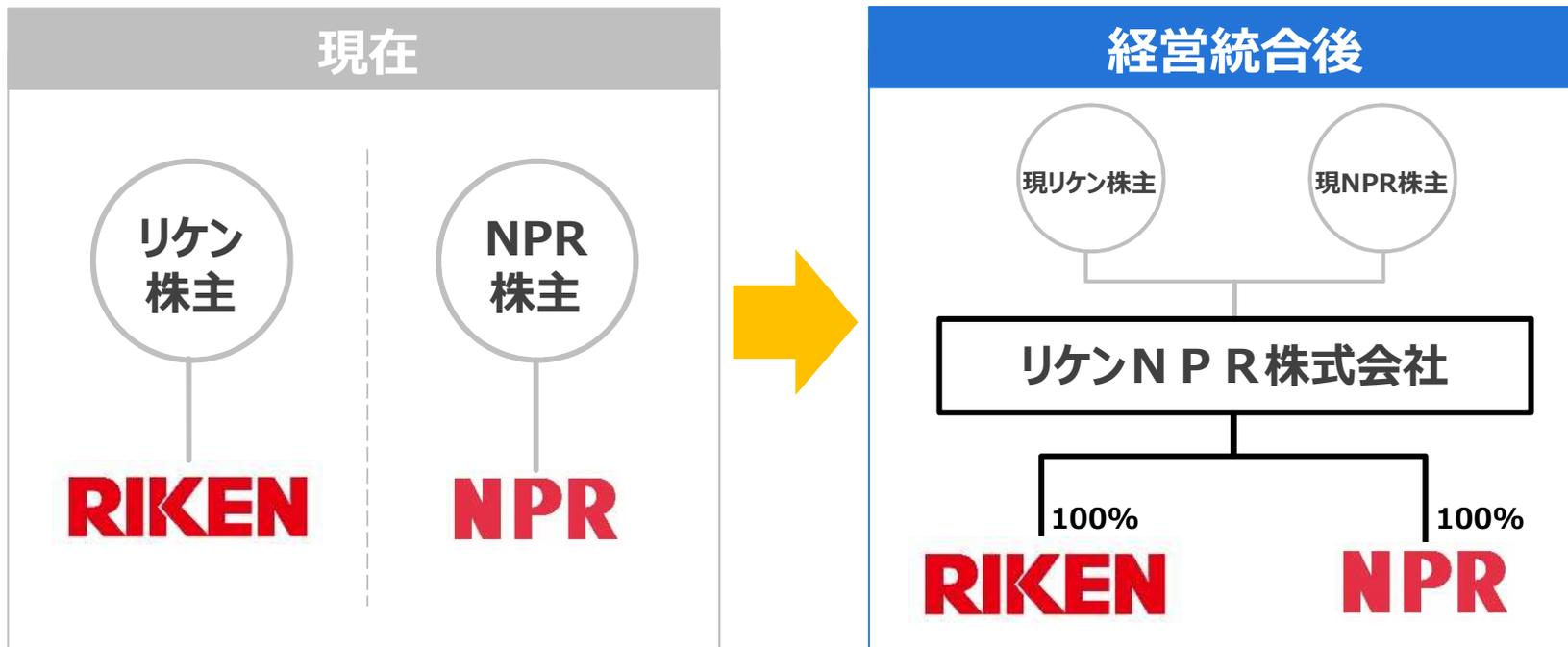
Contents

- I. | 統合スキーム等**
- II. | 統合の目的**
- III. | 統合によるシナジー**

I. 統合スキーム等

経営統合の要旨

共同株式移転により、共同持株会社であるリケンNPR株式会社を設立



2023年10月2日より(予定)

▼今後の想定スケジュール (予定)



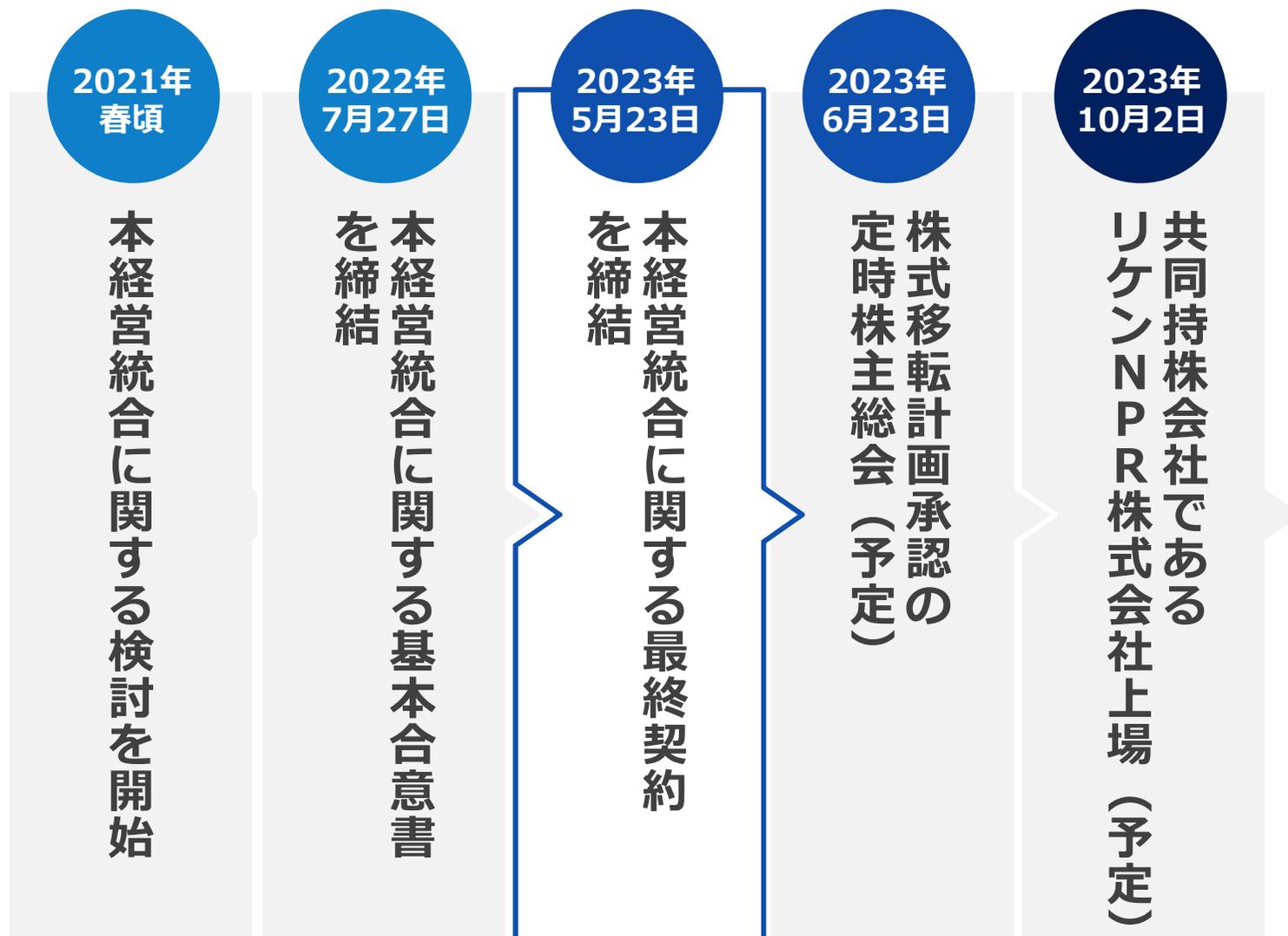
経営統合の要旨

株式移転の比率

	リケン	日本ピストンリング
リケンNPR普通株式	2	1.02

- リケン普通株式1株は、リケンNPR普通株式2株に移転する
- 日本ピストンリング普通株式1株は、リケンNPR普通株式1.02株に移転する

経営統合の経緯



I. 統合スキーム等

経営統合後の状況

商号	リケンN P R株式会社（英文名：NPR-RIKEN CORPORATION）
事業内容	自動車関連製品、舶用・その他の製品の製造・販売等
本店所在地	東京都千代田区三番町 8 番地 1
本社機能所在地	東京本社 東京都千代田区三番町 8 番地 1 さいたま本社 埼玉県さいたま市中央区本町東五丁目12番10号
機関及び役員	1. 機関：監査等委員会設置会社 2. 代表取締役は 2 名 代表取締役CEO：前川 泰則（選定予定） 代表取締役COO：高橋 輝夫（選定予定） 3. 取締役の構成員：13名 前川 泰則 高橋 輝夫 伊藤 薫 坂本 裕司 坂場 秀博 藤田 雅章 平野 英治 黒澤 昌子 渡辺 孝栄 越場 裕人 本多 修 木村 博紀 佐久間 達哉
資本金	5,000百万円
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

（参考）リケンとNPRの会社概要

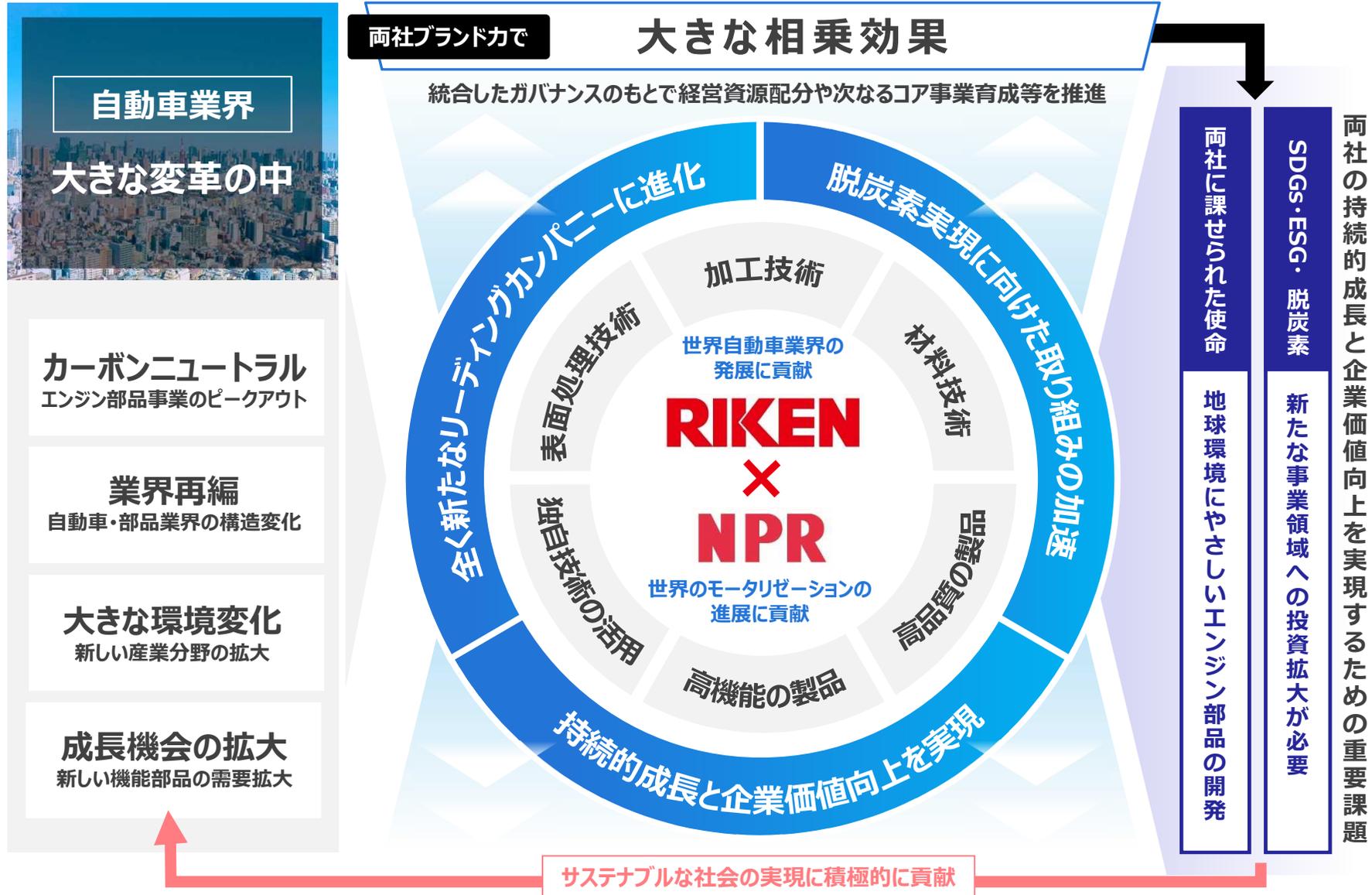
リケンとNPRの会社概要は以下のとおり（2023年3月31日現在）

商号	株式会社リケン	日本ピストンリング株式会社
所在地	東京都千代田区三番町 8 番地 1	埼玉県さいたま市中央区本町東五丁目12番10号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長（CEO兼COO） 前川 泰則	代表取締役社長 高橋 輝夫
事業内容	自動車部品及びその他産業用部品の製造・販売等	自動車関連製品、船用・その他の製品の製造・販売等
資本金	8,627百万円	9,839百万円
設立年月日	1949年12月 1 日	1934年12月20日
従業員数（連結）	1,206人（4,153人）	586人（3,036人）

II. 統合の目的

II. 統合の目的

経営統合の背景・狙い



II. 統合の目的

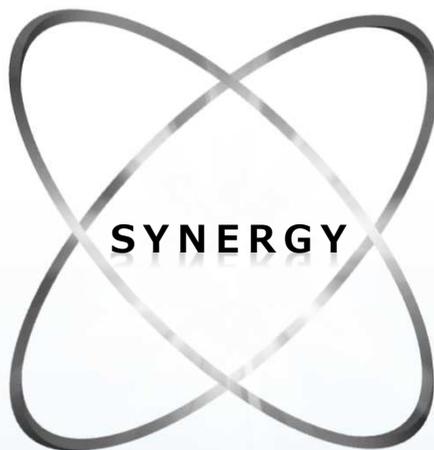
経営統合の意義

	RIKEN	NPR	
経営理念	<ul style="list-style-type: none"> • 私たちは地球環境を守り、社会に貢献する企業市民であり続けます • 私たちは株主の資本を効率的に活用し、グローバルに企業価値を創造します • 私たちは知識の向上と技術の革新を心がけ、世界のお客様に感動を与える製品を提供します • 私たちは高い志と広い視野を持って、常に変革を遂げていきます 	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客第一主義の考えに立ってすべての物事を進める • 環境の変化に柔軟に対応し適切な利益を確保して株主をはじめ関連先に報恩する • 社会との調和をはかり、ワールドワイドな総合部品メーカーの地位を確保して人類の進運に寄与する • 常に革新と業績の向上に努めて会社の繁栄を図り社員的生活向上を築き上げる 	高い親和性
成り立ちと現在	<ul style="list-style-type: none"> • 理化学研究所の研究成果事業化を目的に1927年に創業 • 創業以降、主力のピストンリング等において表面処理技術、加工技術、材料技術の研鑽を続け、90年以上にわたり世界自動車業界の発展に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> • 1934年に設立、国産ピストンリング量産化に成功 • ピストンリング、バルブシート、カムシャフト等の内燃機関部品を中心に、独自技術を活用し、高機能かつ高品質の製品を供給し、世界のモータリゼーションの進展に貢献 	同業・補完関係

III. 統合によるシナジー

想定されるシナジー

RIKEN × NPR



1

経営リソースシフトによる既存事業の強化・次なるコア製品開発の早期実現

設備投資の濃淡調整、生産最適化、開発テーマの集中等を推進

- ▶ 既存事業のキャッシュフロー創出力強化
- ▶ 経営リソースの大胆なシフト
- ▶ 次なるコア事業・新製品創出

2

スピードを増す脱炭素化社会への対応力強化

製品の脱炭素化を加速

サプライチェーン全体を視野に入れた二酸化炭素排出量削減への積極的な取り組み
サステナブルな社会の実現に積極的に貢献

3

インフラを含むリソースの共同利用によるコスト削減

サプライチェーン全体における生産性向上
内製プロセス共通化による外部流出費用削減、共同購買による調達費用削減、重複するシステムや間接業務などの効率化

4

製品相互補完等による生産効率化を通じた製造コスト削減、供給責任への適時適切な対応

生産拠点最適化を進め、大幅な生産性改善、高品質品を供給可能な体制拡充、固定費削減を実現

サステナブルな生産体制確立を通じ、お客様に対する供給責任を適時適切に果たす

5

人や技術の交流を通じた人的スキル高度化

知見や技術の積極的交流を通じて、双方の強みを生かし「新しいアイデア」が生まれる機会を様々な分野や職階で提供

従業員エンゲージメントがよりいっそう高まる職場環境の実現

III. 統合によるシナジー

経営リソースシフトによる既存事業の強化、 次なるコア製品開発の早期実現

- 設備投資の濃淡調整、広範囲な生産最適化、開発テーマの集中等を推進
- 既存事業効率化を通じ、次なるコア事業・新製品分野に経営リソースを大胆にシフト

RIKEN

次世代コア製品の芽を多数創出

熱エンジニアリング事業	EMC事業
水素・新エネルギー事業	次世代新事業 (非ICE事業)

×

NPR

新製品事業の育成・確立

医療機器事業
電動化・ロボット事業
モータ事業

脱炭素実現に向けた取り組みの加速

これまで培ってきた両者の製品、生産に関する技術やリソースを集約し展開

